

森をしらべる・森をそだてる・森をつたえる 宝が池連続学習会2019

主催：(公財)京都市都市緑化協会 / 京都府立大学森林科学科 協力：「宝が池の森」保全再生協議会

『宝が池の原風景』をさぐる*ひきつぐ

(全6回+歴史ウォーク) 第1・2回は終了しました。

対象：中学生以上

(定員30名：先着順)

美しいツツジが咲きほこり、森・池・川がつながる宝が池のフィールド。

松枯れ・ナラ枯れ・シカの増加…
いまだに劣化する森や水辺、
ちのくらし…。多様な
で楽しい森をとりもどす
です。宝が池の原風景
なおし、人がかかわ
守る森と水辺の未来



つぎつぎに問題がふりかかる中、
そして影響を受けるわたした
“いのち”が躍動する豊か
ための実践的な学習会
をあらためてみつめ
りながら、はぐくみ
の姿をさぐります。

10:00~15:30 (予定)
午前・座学、午後・フィールドワーク
*9/22午後のみ座学 3/14終日フィールドワーク

会場

上高野防災会館および
宝が池公園内

- 2019年
- 9月22日(日) 古写真にみるくらしと風景の変遷 / 松枯れの今とこれから
 - 10月27日(日) 森の基盤・土壌と植生~シカによる影響をはかる~
 - 11月24日(日) 鳥たちの姿からとらえる森と水辺の生物多様性

- 2020年
- 1月12日(日) 「妙法」の森の役割と土砂災害のリスクを考える
 - 3月14日(土) 東山の山城をめぐる~中世の歴史探索ウォーク~



〒606-0041 京都市左京区上高野石田町1-6-6
ACCESS●地下鉄烏丸線「国際会館」5番出口より
徒歩15分●叡山電鉄「宝ヶ池」駅より徒歩7分
●市バス5・31・65系統、京都バス10・16・17・18・
21・23・41・43系統「宝ヶ池」バス停徒歩約7分

■お申し込み・お問い合わせは・・・
公益財団法人 京都市都市緑化協会 宝が池子どもの楽園管理事務所 (野田)
TEL:075-781-3010 FAX:075-781-4422 E-mail:rakuen@kyoto-ga.jp
※ホームページからもお申込みいただけます。

(<http://www.kyoto-ga.jp/event/2019/06/>)

【参加費】

- 各回 一般500円
- 大学生300円
- 中高生200円

今年のテーマは「原風景」

再生の活動がはじまっています

かつては「宝が池」の周辺には田んぼや湿地からなる水辺が広がりは、森はアカマツで覆われていました。マツは「妙・法」の送り火に欠かせません。森の南麓には、平安時代からつづく「松ヶ崎」集落があり、人々は、田んぼをつくり、森を利用し続けてきました。その森はやがて防空緑地となり、昭和 40 年ごろに都市公園となりました。手入れする人がなくなった森は様変わりし、最近では、松枯れ・ナラ枯れ、そして、増えたシカによって傷つけられてきています。池の中は外来種だけです。

森と水辺、そしてそのつながりからなる豊かな風景をよみがえらせたい、そのために、森の木々の利用を進め、生態系を再生したい、そして、送り火「妙法」を守り伝える文化と暮らしを未来へつなげたい！ それを実現するための「学習会」です。

講座の概要

宝が池の風景の重要なパーツである「湿地」、「池」、「森」それらを活用してきた「人の暮らし、歴史」それらにダメージを与える「シカ」、「外来種」そして、リスクを取り除き楽しむための「再生」へ…具体的な活動を支える知識と技術を学びます

<野生生物>	×	* アカマツ林と地域文化
<植生変化>		* シカや外来種による負の影響 ～変化と対策・効果～
<地形・地質>		* 植生と地質、土壌
<暮らし・歴史>		* 土砂災害のリスク
<楽しみ・安全>		* 宝が池界隈の歴史文化
<連携・協働>		* 身近な「森」の生物多様性

■ スケジュール・内容 / 10:00～15:30 (午後のみ・13:00～16:00)

<会場：上高野防災会館>

● 第 1 回 6月19日	午前：座学 午後：フィールドワーク	水辺のいきものたち～水域の再生にむけて～ 『湧水湿地をよみがえらせるには～考え方と実践例～』	愛知学院大学 富田 啓介氏
● 第 2 回 7月14日	午前：フィールドワーク 午後：観察・記録	『森と水辺をつなぐいきものたち～宝が池・湿地生物調査～』 終了しました	京都大学防災研究所 竹門 康弘氏 調査協力/ネイチャーワークス：森川裕之氏

* 7月25日時点の予定。一部、調整中の回があります。事前に確認の上お申込みください。(詳細決定後、緑化協会 HP でご案内します)

● 第 3 回 2019年 9月22日(日)	午後のみ 座学 (予定)	宝が池界隈のかつての風景～暮らしとマツ林～ 『古写真からみる岩倉・上高野界隈の風景と生業の移り変わり』 『松枯れの現状とこれから～森林再生にむけた対策を考える～』	大阪府立大学 中村 治氏 京都大学(名誉教授) 二井 一禎氏
● 第 4 回 2019年 10月27日(日)	午前：座学 午後：フィールドワーク	森の基盤/土壌と植生～シカによる影響をはかる～ 『森の基盤・土壌の成立と劣化の状況』～土壌流出調査～ 『宝が池の森の植物～植生調査からよみとる多様性とシカの影響～』	京都府立大学/生命分子科学科 中尾 淳氏 京都先端科学大学/バイオ環境学部 丹羽 英之氏
● 第 5 回 2019年 11月24日(日)	午前：座学 午後：フィールドワーク	身近な森をたのしむ～生物多様性と植生景観～ 『鳥たちの姿からとらえる森から水辺へつながる生物多様性』 ～デジタルマップをもって森あるきをたのしもう～	京都府立大学/環境デザイン学科 福井 亘 氏 他(調整中)
● 第 6 回 2020年 1月12日(日)	午前：座学 午後：フィールドワーク 意見交換	「妙法」の森の役割と暮らし・安全 『身近な森林の変化と土砂災害のリスクを考える』 『森の役割と安全 ～グリーンインフラとしての宝が池の自然～』	京都大学/地球環境学 柴田 昌三氏 京都府立大学/森林科学科 三好 岩生氏
● 特別回 2020年 3月14日(土)	終日：フィールドワーク	東山の山城をめぐる～中世の歴史探索ウォーク～ 『中世の山城からひもとく自然と人のかかわりの歴史』	公財)京都市埋蔵文化財研究所 吉崎 伸氏

■ お申し込み・お問い合わせ

公益財団法人 京都市都市緑化協会 宝が池子どもの楽園管理事務所(担当：野田)
TEL: 075-781-3010 FAX: 075-781-4422 E-mail: rakuen@kyoto-ga.jp

↓↓↓ FAX の場合はこちらをお送りください ↓↓↓

フリガナ	(年齢)	住所
氏名		
TEL:	FAX:	E-mail: